

特集

# 第6回 越谷市学生議会を開催

## 15人の大学生・大学院生が 市政に対する質問を行いました



令和4年11月12日、越谷市議会本会議場で第6回越谷市学生議会が開かれました。越谷市議会では、次代を担う若者に市政や議会について理解を深めてもらうとともに、市民に開かれた議会の推進を図るため、平成22年から隔年で模擬議会を開催しています。第6回となる今回は、コロナ禍による2回の中止を経て、感染対策を十分に講じて開催しました。

当日は、学校選出や一般公募で集まった市内在住・在学の大学生・大学院生15人の学生議員が市政に対する一般質問を行いました。学生議員の一般質問には市議会議員が、質問のサポートを行うサポート議員、質問に対し答弁を行う答弁議員として、それぞれ対応しました。



質問する学生議員

### 第6回 越谷市学生議会 一般質問項目一覧

議席番号	学生議員名	学校名	答弁議員	サポート議員	質問項目
1	たかべ みゆき 高部 美優貴	埼玉県立大学	小林 成好	後藤 孝江	越谷市に所在する大学の関係者へのプロモーションについて
2	おおた あいか 太田 愛花	埼玉県立大学	野口 高明	菊地 貴光	学校教育におけるICTの取り入れについて
3	おった らんらん 追田 蘭々	埼玉大学	守屋 亨	瀬賀 恭子	市内に設置されているAEDについて
4	さとう たかのり 佐藤 隆則	文教大学	立澤 貴明	金井 直樹	学生の部活動に関する越谷市の支援について
5	ふじむら さやか 藤村 彩花	埼玉県立大学	松田 典子	島田 玲子	若い世代の検診受診率を向上させるための方法について
6	なかやま げんき 中山 元揮	文教大学	大田 ちひろ	伊藤 治	越谷市外国籍市民について
7	やまだ まさふみ 山田 雅史	文教大学	細川 威	山田 大助	ICT教育について
8	すずき ななね 鈴木 夏々音	埼玉県立大学	山田 裕子	畑谷 茂	若者のための文化・交流施設について
9	かねこ りな 金子 莉菜	埼玉県立大学	野口 和幸	野口 佳司	市民協働について
10	よこかわ ことは 横川 琴葉	埼玉県立大学	大和田 哲	白川 秀嗣	防災について
11	ひょうどう ひかる 俵頭 光	文教大学	小出水 宏泰	大野 保司	商業施設について
12	たかく しょうた 高久 翔太	文教大学	宮川 雅之	金子 正江	高齢者について
13	うしじま めい 牛嶋 萌唯	埼玉県立大学	久保田 茂	武藤 智	特定健診の受診率と生活習慣病重症化予防の取り組みについて
14	なかむら くるみ 中村 来未	中央大学	工藤 秀次	浅古 高志	自転車の利用について
15	けら まさき 計良 真生	文教大学大学院	清水 泉	岡野 英美	越谷市における高校生・大学生への施策について



学生議長を務めた計良真生さん



学生副議長を務めた高部美優貴さん

# 学生議会における 市政に対する一般質問

15人の学生議員が市政全般について質問を行いました。学生議員が質問を考えるにあたり、事前にサポート議員がアドバイスをを行い、当日の回答にあたっては答弁議員が対応しました。

**Q** 越谷市に所在する大学の関係者へのプロモーションについて

**高部 美優貴**  
学生議員  
答弁議員 **小林 成好** 議員  
サポート議員 **後藤 孝江** 議員



問 越谷市は、市内に所在する文教大学や埼玉県立大学と大学連携に関する包括連携協定を締結しているが、どのようなことを行っているのか。また、学生のシビックプライドを育む方策は。

答 市内大学のホームページに記載の連携事業実績のほか、今後は、教育の場の提供や市の就職マッチングフェアなどを開催していければよいと考えている。シビックプライドについては、市内に住む、働く等、長い時間留まることで、市を深く知り、新たな発見をすることで醸成されるものと考え。市としては、市に住んでいただけるような仕組みや政策を充実させるべく、取り組んでいく。

**Q** 学校教育におけるICTの取り入れについて

**太田 愛花**  
学生議員  
答弁議員 **野口 高明** 議員  
サポート議員 **菊地 貴光** 議員



問 児童生徒一人一台によるタブレット端末の保持の実現が進んでいるが、情報モラルに対する教育は行っているのか。また、端末の使用により発達段階の影響が考えられるが、心身の保護のために行っていることは何か。

答 情報モラル教育は、教師から子どもという指導だけではなく、児童生徒主体で作成した共通ルールをもとに、児童生徒自らの主体性を持った教育を今後も進めていく。また、端末使用による心身を保護するため、端末使用時に姿勢の乱れが起きないように指導を行うことや教職員向けのICTに関する研修の実施、保護者・児童生徒向けの相談体制の強化を行っている。

**Q** 市内に設置されているAEDについて

**追田 蘭々**  
学生議員  
答弁議員 **守屋 亨** 議員  
サポート議員 **瀬賀 恭子** 議員



問 緊急事態はいつ、どこで起こるかわからないため、特に主要な施設については必ずAEDを設置してほしいと考える。また、施設利用者以外の人などが使用できるように、施設の外に設置してほしいと考えるが、設置の現状と今後の方針は。

答 市では平成18年度からAEDの設置を進め、現在178台を維持管理している。さらに、公共施設の屋外設置、コンビニ等92か所のAEDが24時間使用可能となっている。AEDの普及は、設置数を増やすことに重点が置かれてきたが、今後はより効果的かつ戦略的な配置と管理を進めていく必要がある。設置場所の周知についても推進に努めていきたい。

**Q** 学生の部活動に関する越谷市の支援について

**佐藤 隆則**  
学生議員  
答弁議員 **立澤 貴明** 議員  
サポート議員 **金井 直樹** 議員



問 国は教員の働き方改革により、中学生の部活動の地域移行を2023年度に始めることを示している。地域移行によって、生徒がどの程度自由な活動ができるのか。また、安全性の確保は。

答 本市においては、国、県の方針に沿って、今後、具体的な推進計画を策定することとなるが、現状においては、国、県の方針が定まっておらず、具体的対策については検討されていない。今後は国、県の動向を注視し、地域の多様なスポーツ・文化団体等による受け皿の整備、指導者や予算、施設の確保、大会・コンクールの在り方等さまざまな課題に対応し、計画を定めていくこととなる。

**Q** 若い世代の検診受診率を向上させるための方法について

**藤村 彩花**  
学生議員  
答弁議員 **松田 典子** 議員  
サポート議員 **島田 玲子** 議員



問 検診受診率および予防接種率の向上のため、アプリやSNSを活用する考えは。また、現在、越谷市が若い世代に向けて行っている郵送以外の周知方法および今後の方向性については。

答 毎年4月に当該年度の保健事業を案内する「しがや保健ガイド」を広報紙と同時配布している。また、健康マイレージ事業で、検診を受診した際のインセンティブポイントを付与するなど、他の事業との連携・周知も図りながら検診の受診率向上に努めている。市では、健康増進に関するアプリは開設していないが、今後、SNS等を活用し、市民ニーズに応じた適切な周知方法を調査・研究していきたい。

**Q** 越谷市外国籍市民について

**中山 元揮**  
学生議員  
答弁議員 **大田 ちひろ** 議員  
サポート議員 **伊藤 治** 議員



問 越谷市では越谷市多文化共生推進プランを策定し、「お互いに認め合い人権を尊重する社会づくり」の達成に向けて多くの側面から外国籍市民をサポートしている。外国籍市民の生活は、プランの施策前よりの程度豊かになっているか。

答 外国籍市民が安心して暮らすことができ、主体的なまちづくりへ参加できる環境づくりが重要であり、多文化共生社会を実現するための各種施策を展開しているところである。外国籍市民の中には、本市を選んで来ていただいた方も少なくないと考えている。外国籍市民が少しでも本市での生活を豊かだと感じていただけるよう、プランを推進していきたい。



右のQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、学生議会の録画映像をご覧いただけます。



**Q ICT教育について**

**山田 雅史**

学生議員



答弁議員

**細川 威 議員**

サポート議員

**山田 大助 議員**

問 児童生徒の情報収集・モラル等の情報活用能力の向上や授業の効率化を図るためICT教育を取り入れた結果、成績は上がったのか。また、具体的な取り組みは。さらに、ICTと紙媒体それぞれの長所を生かし、バランスよく活用する考えは。

答 本市では令和3年度全国及び埼玉県学力・学習状況調査において全科目で平均を上回っており、各学校で行われている効果的な取り組みは事例集として集約している。ICTと紙媒体のバランスよい活用については、ICTの積極的な活用と併せ、教室の空間を感じながらの教育も大切と考え、紙での学習とデジタルの両立を図り、よりよい教育現場となるよう努める。

**Q 若者のための文化・交流施設について**

**鈴木 夏々音**

学生議員



答弁議員

**山田 裕子 議員**

サポート議員

**畑谷 茂 議員**

問 子ども時代にたくさん遊び、友達を作り、正しく異性を理解することがよりよい社会をつくるために必要であると考えている。越谷市には幅広い年代の子どもや若者が無料で利用できる文化交流施設はあるか。また、施設がない場合、第三の居場所となり得る場所を設置する考えはあるか。

答 今できることは、子どもや若者が気軽にいつでも立ち寄ることができる居場所をできるだけ多く作ることだと考える。子ども食堂や学習支援などはいくつかあるが、今後は若者が抱える悩みや不安を聞き取りながら、既存の公共施設の利活用を含め、若者の居場所を増やすことができないか、積極的に提案していきたい。

**Q 市民協働について**

**金子 莉菜**

学生議員



答弁議員

**野口 和幸 議員**

サポート議員

**野口 佳司 議員**

問 学生や子育て世代なども市政に参加できる環境をつくるのが望ましいと考えるが、すべての世代の声を公平に聞くために行っている活動や市民が市政に参加するための取り組みは。また、その成果は。

答 自治会等を通じて市民の声を伺うことや市民の提案制度として市長への手紙等の意見公募を行うなど、市ではさまざまな意見交換の場を設け、地域活動を通じた市政参加の機会を提供している。成果については、さまざまな市政情報配信媒体の登録者が増加しているほか、若い世代が市政に関心を持ち、イベント等の参加人数も増加している。今後も市民目線でのどのような情報提供やイベントがよいか検討していく。

**Q 防災について**

**横川 琴葉**

学生議員



答弁議員

**大和田 哲 議員**

サポート議員

**白川 秀嗣 議員**

問 災害時、相互の声かけがスムーズな避難や孤立の予防につながるため、日頃のコミュニケーションや関係性が重要と考えるが、多様な生活に合わせた防災対策や情報提供方法の工夫は。また、日常的な交流を防災につなげるための取り組みは。

答 越谷市総合防災ガイドブックの活用について地区ごとに説明会を開催し、災害リスクを認識し、適切な避難行動ができるよう周知啓発を行っている。情報発信については、さまざまな伝達手段を用いている。また、災害時要援護者登録により自治会等と協力し避難支援する制度を設けている。今後も市民の防災意識の向上を図るため、あらゆる機会を通じて情報提供に努める。

**Q 商業施設について**

**俵頭 光**

学生議員



答弁議員

**小出水 宏泰 議員**

サポート議員

**大野 保司 議員**

問 大規模商業施設は都市構造に対して大きなインパクトを有するとともに、市の発展において重要な要素であると考えているが、本市の商業施設に関する方針や課題を含めた現状は。

答 大相模調整池周辺の水辺活用について、令和4年8月にイオンモール株式会社と基本協定を締結し、企画段階から商業施設と連携したまちづくりを進めていきたいと考えている。南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業構想においても、越谷シティの再整備を核とし、歩行空間の整備や駅前ロータリーの改善等により、周辺地域の活性化、定住人口の増加につなげていきたいと考えている。

**Q 高齢者について**

**高久 翔太**

学生議員



答弁議員

**宮川 雅之 議員**

サポート議員

**金子 正江 議員**

問 高齢者の孤立を防ぐため、地域共生社会を実現するための取り組みは。また、高齢者の雇用を増やしていくことも重要であると考えているが、越谷市における高齢者雇用の促進に向けた取り組みは。

答 本市では、自治会等を対象とした介護予防リーダー養成講座の開催や、地域での支え合いを考える生活支援体制整備事業、地域包括支援ネットワークの強化等に取り組んでいる。高齢者雇用については、越谷市シルバー人材センターが実施する就業支援および就業を通じた生活の充実等への支援を行っている。また、高齢者の就業や能力開発を支援するため、シニア向け就職支援セミナーを開催している。



# 学生議会における市政に対する一般質問

**Q** 特定健診の受診率と生活習慣病重症化予防の取り組みについて

牛嶋 萌唯

学生議員



答弁議員

久保田 茂 議員

サポート議員

武藤 智 議員

問 小中学校における健康教育を通じて、若い時期に健康意識を高めることができれば、将来的に疾病の予防にもつながり、健康寿命の延伸を実現するための第一歩になると考えるが、市内の小中学校における健康教育の現状や今後の方針は。

答 本市では、各学校が児童生徒の健康診断を実施し、学校保健関係者と連携をとりながら、保健管理の充実に取り組んでいる。また、がん教育などの保健教育を推進するとともに、児童生徒の食事に関する調査を実施し、その結果を踏まえた指導を行っている。今後も児童生徒の生活実態を把握し、各家庭とも情報を共有しながら、保健管理の充実に取り組んでいく。

**Q** 自転車の利用について

中村 来未

学生議員



答弁議員

工藤 秀次 議員

サポート議員

浅古 高志 議員

問 自転車による事故が多い理由として、自転車が危険な乗り物であり、自動車と同じルールを守るべき車両であることに対する認識の甘さがあると考え。越谷市では自転車マナー向上のためにどのような取り組みを行っているか。

答 本市では、越谷市交通安全計画に基づき、警察署や交通安全関係団体等と連携した交通安全運動出発式や期間中の街頭啓発活動、交通安全教室、広報パトロール等を実施している。今後とも市民一人一人が正しく自転車を利用できるよう、「自転車安全利用五則」を活用した周知啓発や、交通安全教室等の充実を図り、自転車マナー向上と交通事故防止に努める。

**Q** 越谷市における高校生・大学生への施策について

計良 真生

学生議員



答弁議員

清水 泉 議員

サポート議員

岡野 英美 議員

問 地域住民と高校生、大学生をはじめとした若者をつなぐ地域のプラットフォームが必要であり、既存の施設で網羅できる可能性も大いにあると考えるが、その場合における若者への周知や利用促進をどのように考えているか。

答 市内の地区センターを利用したさまざまな活動の中で、学生と地域の交流が図られているほか、近年では、第5次越谷市総合振興計画の策定にあたり、市内の学生を対象とした若者懇談会が実施された。こうした取り組みは、地域と若者をつなぐプラットフォームの一つであると認識しており、議員としても積極的に発信していきたいと考えている。

## 学生議会を終えて

学生議員の感想文を  
一部抜粋してご紹介します

初めてのことで緊張しましたが、質問原稿の作成の段階から、サポート議員の方のアシストを受けることができたので、とても心強く、本番も安心して迎えられました。当日も答弁議員の方に丁寧に回答していただき、とてもわかりやすく、発言の仕方も勉強になりました。

議会参加ということで質問席に立った時にはとても緊張しましたが、議場に立つことは経験することのできない貴重な機会だったので、楽しむことができました。質問を考えるとときに越谷市の市政について興味を持って調べたりすることで、大学のある越谷市がどういった政策を考えているのか議員とやりとりすることで良い学びにつながったと思います。

今回の越谷市学生議会を通して、実際に本会議場で質問することで議会では普段どのようなことが行われているのかを理解するとともに、市政や議会への関心が深まる経験となりました。また、学生議会に参加したことで、地域の一員としてより市政に興味、関心を持って関わる必要があることを再確認しました。



## 市議会 豆知識

### ●越谷市学生議会

これまでに開催された学生議会について紹介します。

〈開催実績〉

第1回：平成22年5月10日(月)

学生議員31人

第2回：平成24年11月17日(土)

学生議員30人

第3回：平成26年11月15日(土)

学生議員26人

第4回：平成28年11月12日(土)

学生議員21人

第5回：平成30年11月17日(土)

学生議員25人

第6回：令和4年11月12日(土)

学生議員15人

※第4回、第5回は大学生のほか、市内の高校生も対象に開催しました

〈内容〉

・市政に対する一般質問  
・まちづくりに関する決議(第2回目のみ)

・意見交換会(第2回目から)

※第6回はコロナ禍による開催となったため、学生議員と市議会議員による意見交換会は行いませんでした。

会議録など詳細は市議会ホームページをご覧ください。



## 編集後記

令和4年12月定例会が終了いたしました。我々市議会議員の任期は4年で、今定例会が任期最後の一般質問となりました。3月定例会では一般質問はなく、各会派の代表質問となります。そして、4月には越谷市議会議員選挙で改選をむかえます。ぜひとも選挙では投票に行っていて、ご自身の一票を市政に反映させましょう。

議会報専門協議会委員  
小林 成好